

問 御前崎市が取り組んでいる企業誘致に合わせ、若者の定住を図る政策が重要であります。総合計画を具体化する上で今後地域版土地利用計画が必要になると思います。定住を促す具体的政策として、土地の有効利用のための住宅適地調査を実施する考えは

答 平成18・19年度の2カ年継続事業で御前崎市の土地利用の指針となる「国土利用計画」を策定します。農業についても、守るべき地域と、以外の利用地域と明確に区分し、生産性の乏しい農地や荒廃した農地については、農地以外の土地の有効利用を検討する必要があります。北部地域については、若者の定住促進や少子化対策を図るため企業誘致に努め、低廉で良質な小規模住宅用地の確保について調査・検討するなど、御前崎市として均衡のとれた地域

づくりを進めたいと考えます。

問 地域特性を活かした市内各地の拠点との連携は合併メリットの一つであります。回廊型ネットワークづくりのためにも、市内統一した道標や、各所旧跡の案内看板等の整備が必要であります。観光戦略策定調査には各地域の意見も求められましたが、どのように反映するのか、また事業を進める計画は

答 地域が一体の取り組みが基本であり、観光協会や各地区公民館・産業団体等の意見を今後の観光振興やルートづくりにも反映させてまいります。市内統一の観光案内標識の設置について、平成18年度に調査設計を進め、平成19年度から観光案内標識の設置や観光ルートの整備などに取り組んでまいります。

AEDの設置について

問 AED（自動体外式除細動器）が、2004年7月から一般人でも講習を受ければ使用が可能になり、市でも18年度に5台導入することのだが、設置場所と講習会の実施計画は

答 公共施設・学校などに設置する予定です。講習会は、保健師が受講しているので市民を対象に講習会の対応ができる他、消防署の協力で実施することになっています。成果によっては増設も検討してまいります。

公用車の

防犯ステッカーについて

問 犯罪の抑止力と地域住民の防犯意識の啓発のため、公用車にマグネット式防犯ステッカーを導入する考えは

答 市職員だけでなく、市民の防犯意識を高める効果も期待されるので、防犯対策の一つとして実施できるように検討してまいります。

耳マークの設置について

問 中途失聴、老人性難聴者等のために、病院や公共施設の窓口に耳マークを設置する考えは

答 聴覚障害者の方々が公共施設等を気軽に利用できる環境づくりに有効と考えられますので、新年度の早い時期に総合病院や図書館、市役所窓口に設置していきたいと考えています。

耳マーク

